

@は一もにあかふえ活動計画書

(2023年度)

■今年の活動方針

規約に基づき、

・主な活動

- ① 交流会の開催
 - ② ホームページ・会報・情報配信などによる情報の提供
 - ③ メールや書簡、電話、面談による相談支援活動
 - ④ 当事者、家族同士のネットワーク作り
 - ⑤ 専門医療や支援機関、行政との連携
 - ⑥ 社会への啓発、広報活動
 - ⑦ 講演会・講座・学習会など、研修と学習の機会の提供
- を行うこととなっています。

① 交流会の開催について

交流会は「みっくす交流会」として

1. お話し会
2. ボードゲーム会
3. 読書会
4. 調理会

の4つ行う予定です。参加費は基本300円とし、実費は別途です。

参加費の一部は活動資金として使います。

② ホームページ・会報・情報配信などによる情報の提供

こちらに関しましては適時行います。

③ メールや書簡、電話、面談による相談支援活動

こちらに対しましては環境や体制が整い次第、適宜行います。

④ 当事者、家族同士のネットワーク作り

こちらに関しましては交流会など行うことで達成できると思われれます。

⑤ 専門医療や支援機関、行政との連携

こちらに関しましてはまず支援機関や行政に情報提供を行っていただけるよう、メールにて連絡をとっているところです。団体として公共性を持った支援団体であるという認識を持っていただけるよう、真摯に活動に邁進していく所存です。皆さまもご協力お願いいたします。

⑥ 社会への啓発、広報活動

こちらはオンラインではブログやSNS等で随時行っています。今後も引き続き行います。

4月の発達障害啓発週間では代表がイベント主催の会に加わる予定です。

⑦ 講演会・講座・学習会など、研修と学習の機会の提供

こちらにつきましては文部科学省の企画する「土曜学習応援団」として賛同し、団体として活動できるように動いています。

1.教育プログラムにて5つのプログラムを提案し、現在掲載中。

1)学習支援プログラム

ねらい・目的:発達障害を抱える子どもたちの学習支援を行い、自信を持って学べる環境を提供すること。

進め方:個別にカリキュラムを組み、教材の選定や指導方法の工夫など、子どもたちに合った学習支援を行います。また、定期的に保護者との面談を実施し、継続的な支援を行います。

(2)ソーシャルスキルトレーニング

ねらい・目的:発達障害を抱える子どもたちが、社会で必要とされるコミュニケーションスキルや自己表現能力を身につけることを目的としています。

進め方:ロールプレイやグループワークなどの活動を通じて、コミュニケーションスキルや自己表現能力をトレーニングします。また、実際の社会生活に即した課題を設定し、実践的なトレーニングも行います。

(3)バルーンアートプログラム

ねらい・目的:手先を使うことで創造性や集中力、忍耐力などを養い、完成した作品を見て達成感を感じることができるようになることを目指します。

進め方: バルーンアートの基本的な技術から始めて、簡単なバルーンアート作品の作り方を学びます。その後、より複雑な作品の作り方を学んでいきます。

(4) ドッチビーを使ったスポーツプログラム

ねらい・目的: 運動能力や協調性、コミュニケーション能力などを養い、楽しみながら健康的な身体を作ることを目指します。

進め方: ドッチビーのルールや基本的な技術を学び、ドッチビーを使った様々な競技を行います。

(5) ボードゲームプログラム

ねらい・目的: 戦略的思考力や判断力、コミュニケーション能力などを養い、楽しみながら学ぶことができるようになることを目指します。

進め方: さまざまなボードゲームを用いて、ルールや戦略を学び、プレイを通じて思考力や判断力を養います。

以上が5つの教育プログラムのねらい・目的、進め方です。

2. 勉強会や講座などを行いたいと思っています。

⑤ 専門医療や支援機関、行政との連携の進捗具合により、実現が可能です。

いろいろなつながりを大切にし、可能であれば年度内に開催したいです。

①から⑦の活動を適宜行い、当団体が掲げる[活動理念](#)に少しでもコミットできるよう行動していきます。